

4-(1)

出来形管理総括表(中間 しゅん工検査)

工事名

測定者 ○○ ○○

工種	種別	測定項目	測定基準	測定回数		規格値 (mm)	測定値			摘要
				計画	実施		最大値	最小値	平均値	
道路工		基準高	基準高は、測点の中心線上及び両端について測定する。 幅は、全幅と中心線から左右それぞれの幅を、測点ごとに測定する。 IP間距離は、測点ごとに測定する。 施工延長※2 IPは、全交点及び全測点について測定する。			± 50				
		幅員				+ 200 - 0				
		IP間距離				+ 0.5% - 0.2%				
		測点間距離				± 100				
		施工延長※2		設計延長	実測延長	-0				
		IP点交角				± 1°				
むへ擁 護壁 岸工 ・ 土留 工 含	積キコ ・ヤン 鋼スクリ ・トリー ・ブリ ・強口 ・土ッ ・壁クレ	基準高								
		高さ (法長)								
		幅 (厚さ)								
		法勾配 (壁前傾)								
		延長								
		スリットア ラ・ス グトコフ ・シア 鉄クル 鋼								
固へ治 工流山 含路ダ む工ム ・工 床	トコ ・ン 鋼クリ ー	基準高								
		堤幅								
		堤高さ								
		堤延長								
		法勾配 (下流側倒れ)								
		アンカー自由長 (鋼材長)								
ンへ山 グア腹 工ン工 ・カ ー工 ・ロ ツクボ ルト工 ・ボ ーリ		アンカ一定着長								
		削孔長								
		削孔角								
		軸間隔								
		テンドン挿入								
		グラウト注入量								
		削孔展開角								
		保孔管挿入								

※1 道路工、擁壁工(護岸工・土留工含む)、舗装工(表層・基層・上層路盤(鉄鋼スラグ))、
治山ダム工(流路工・床固工含む)、山腹工(アンカー工・ロックボルト工・ボーリング工)を必須工種とする。
(出来形管理基準に対応した測定項目のみ記載する。)

※2 道路工の施工延長については、測定回数欄に、設計延長と実測延長の値を記入する。

※3 以下の工種については記載を省略できる。

【省略可能な工種】

土工、基礎工、水路工等、法面工、法面覆工、暗渠工、柵工、安全施設、路床工、下層路盤工、
上層路盤工(鉄鋼スラグ以外)、区画線工、仮設工

※4 しゅん工時の型枠、床掘の出来形管理表及び出来形管理総括表の提出は不要。

※5 その他の記載工種は、監督員と協議の上決定すること。